

18番 原田 靖 議員

1 福祉行政について

(1) 「住民主体による高齢者助け合い応援事業」について

「住民主体による高齢者助け合い応援事業」は、高齢社会を迎えた今日、活動団体において大変喜ばれている。

- ① 事業概要、活動団体数・活動内容・運営状況など現状を示されたい。
- ② 町内会組織をはじめ、地域活動の担い手不足が叫ばれている中、新たな地域支援組織として期待される。活動団体を広げていくためにも周知徹底を図っていただきたいと思うがどうか。
- ③ 事業設立から3年が経過しようとしている。今後の課題と展望を示されたい。

2 文化行政について

(1) 無形民俗文化財について

これまで、「保存」の意味合いが強かった文化財保護法が、「文化財を活用しながら保存する」方向に舵をきった。

- ① 「保存と活用」の意義について示されたい。
- ② 本市の無形民俗文化財の「保存と活用」の視点からその現状と課題、今後の方向性について示されたい。
- ③ 関心のない人たちに、どのように関心を持ってもらうか、文化財を一般に活用し、多くの人々にその価値を理解してもらう機会を提供できないか。県下でも学校との関係強化に活路を見出そうとする自治体が多い。
また、目標となる「晴の舞台」の機会提供は考えられないか。
- ④ 本市において、「文化財保存活用地域計画」を作成する考えはないか。